

START!

10月 募集を開始！メンバー集結

プロジェクトを立ち上げ、10月1日から各所に募集のチラシを配布。「女子学生の社会人力アップに！」と参加を呼びかけ新聞にも取り上げられました。



参加したいのですが…



なんと！チラシと紹介で15人の女子学生が集まってくれました。また、熊本大学文学部の世界システム史演習Eゼミ生(男女)も協力してくれることに！

10月下旬~11月上旬 編集講座を開催。取材ルールを決めました

編集指導
坂本ミオ

仕事の意義、心構えから原稿作成まで、駆け足の講座でした。一つも聞き漏らすまいという皆さんの姿勢、まぶしかったです。うれしかったです。

取材相手に感謝の気持ちを忘れな!



講座 1



講座 2



講座 3

前日に持ち物チェック!

木曜コースと土曜コース、熊大コースで各2回ずつ編集講座を実施。インタビューするときの基本や文章作成の注意点を学んだ後、模擬インタビュー&原稿作成に挑戦。それぞれのコースごとに、取材ルールを作りました!

11月・12月 いよいよ取材に!



51人の女性にコンタクトを取り、日程調整。カメラマンと学生とスケジュール調整が大変でした。

取材相手が約束を忘れていたことも…



ありがとうございます!



取材先のご自宅でおみやげをたくさんいただいた学生も…

緊張で、微妙な間が空いてしまった取材も…



取材先まで自転車で2回下見をした学生も… いました!

学生のノートには、事前の下調べした情報や質問事項がびっしり。緊張しつつも、まっすぐ質問する姿。私たちが見習うことが多かった取材現場でした。

取材同行
富岡若菜

取材に遅れるというハプニングも!



撮影助手もこなしてくれました



撮影
小田崎智裕

皆さんの初々しい取材風景を楽しませていただきました。たくさんのお思いをまとめる作業は大変だったでしょうが、ぜひ今後の人生に生かして下さい!

12月・1月 原稿作成に取りかかりました



たくさん聞いた情報から何をとり取るかが重要。取材した方の魅力が伝わる文章を書くのに試行錯誤しました。

デザイナーの手で紙面が組み上がると、完成のイメージが伝わります! 原稿作成と同時進行で表紙デザイン決定、目次作成や完成した冊子の配布先をリスト化するなど活動はどんどん活発化。



その人が一番伝えたいことは何なのか…。何度も何度も書き直した皆さんの努力が見える原稿は、私にも初心を思い出させてくれました。ありがとう。



原稿確認
大平誉子

1月 取材を終えて…振り返り会

全員の取材が終わった後、取材での出来事や取材を通して感じたことなどを報告し合いました。



原稿を書くのが大変でした!

価値観が変わった

はじめは緊張したインタビューもだんだん楽しくなりました

事業統括
吉田稀世



取材&原稿作成、大変な作業に丁寧に向き合うみんなの感性や意識の高さに感心しました。お疲れさまでした!

2月中旬 冊子が完成

皆さんの手元に届くよう、県内の図書館や高校、大学に送付しました。3月8日国際女性デーのイベント「第3回ミモザフェスティバル」で完成報告会を行います!



完成!